

地域のかお シリーズ87

「コロナ禍後の日常を見据えて」

広瀬中学校 PTA 会長

宮下 寛明

「おはようございます！」朝のウォーキングですれ違う皆さんと元気よく挨拶を交わします。私は齢50近くで12月から20代中心の職場に変わるため、少しでも彼らと同じ動きができるようにと、今年11月からウォーキングを始めました。最初は慣れずにフラフラ歩いていましたが、すれ違う皆さんを参考にし、1ヶ月過ぎてようやく周りの景色を楽しめる余裕が出てくるようになりました。



仕事のスケジュールや体調に合わせて広瀬小中学校区内を歩いていると、広瀬地域全体的に歩道含め道路整備が行き届いているな…と気づかされる発見がありました。適度に緑地があり、お店や病院、総合支所もあるので簡易的な手続きも問題ありません。細かいところまで考えれば多少なりとも不満を感じるころもありますが、それは今回考えないとしても子育てだけに照準を当てれば住宅地から少し離れるだけで自然に触れさせる機会もたくさん持てます。最大の魅力はそこにあると思います。

ただ、残念なことにそんな環境が身近にありながら子ども達の姿を外で見るのがとても少なくなっていました…。新型コロナウイルスが2年前から蔓延し始め、私の子ども（当時小6・4・1男の子）も自粛期間の影響でどうやって外で遊んだらよいかわからなくなってしまったようです。長男は中学生になり、徐々に新しい生活様式に馴染める

ようになりましたが、小学生の弟達は自宅内で遊ぶことが中心になってしまっています。昭和に子ども時代を過ごした私には考えられないインターネット環境も自宅内での過ごし方に多大な影響を与えてしまっているところもありますが。

論点が広がりすぎてはいけませんね（汗）。

コロナ禍前の日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかることは間違いありません。特に地域の人々とどう関わってよいかわからない子どもは我が家以外にもたくさんいらっしゃると思います。子どもだけに限らず、大人も同じですね。

私が朝ウォーキング時に交わす「おはようございます！」は地域との結びつきを強く感じさせるものがあります。どうか返答がなくても自ら「おはようございます！」と言えるようになりますか？少しだけ違った日常が見えるようになるかもしれませんよ。



★11月30日(火) 6:30
こまき橋から広瀬神社



★11月30日(火) 6:45
石崎橋からホンダロック側



★12月3日(金) 6:40
石崎橋から日豊本線鉄橋



★12月3日(金) 6:50
こまき橋から広瀬神社

おはようございます！

